

問題の地下採掘

今日愈々調査開始

青沼町長以下全町議立會

出願者側から菅原所長

(展報)内郷村警察署出願に
査官一行と會見したが同時に
上る平町の地下採掘問題は既
報の如く今日から三日間の
豫定で仙台礦山監督局が實地
調査を爲す事に決定、同局職
業課長瀨尾健二技師は鍋田技
手、星野の兩氏と共に昨三十
日來郡、湯本町に一泊今日一
午前九時平町役場に青沼町長
を訪ひ實地調査の立會を求め
たので此れより先既に反對の
態度を決してゐる、平町では
過日の協議會に於ける決定通
り全町會議員が調査に立會す
る事になつて居るので既に町議
大半は出席して居り直ちに調
査の進行に着手するものと見
られてゐる

白紙の態度で調査

運命のカギを握る人

瀨尾礦業課長は語る

(別項)問題の平町地下採掘實
地調査のため來平した仙台監
督局礦業課長、瀨尾技師一行
は明二、三日も引き続き詳細
に調査を遂げる筈で今回の實
地調査により平町の反對態度
が果して是非か決定する
だけに一行の調査結果は三萬
町民の死活に關する問題解決
の鍵として非常に注目されて
ゐるが瀨尾課長は

に平町が理由なき反對
のための反對を續けてゐる
と云ふ様な時は當局として
も平町の反對を押し切り許
可する決心である、各々に

四倉市場の總決算

出廻り約二萬貫

価格はタツタ二百圓減

前年に比し一萬余貫大激減
四倉市場の出廻りは前年
に比し一萬余貫大激減
前年に出廻り約二萬貫
価格は一貫七角半減
前年に出廻り約二萬貫
価格は一貫七角半減
前年に出廻り約二萬貫
価格は一貫七角半減

昭和入組ガス流失

部落民二十名中毒

原因は職工の不注意

二十九日午前十一時頃
和入組工場のクローラ石炭製
造工場から毒素ガスが漏れ
て部落民二十名中毒
原因は職工の不注意
部落民二十名中毒
原因は職工の不注意

近頃ない大量出荷

俵米千二百俵の共販

前回より一俵で十錢高か

石城郡販賣に於ける今日の
俵米共同販賣は出荷量の如
く一千二百一俵に達する近頃
ない大量出荷の競争
入札の結果は午後五時過ぎ
云はれる開札の爲め確報し得
なかつたが東郡市場が関西の
大水害から俄かに活気づき此
の氣配に伴ひ一俵に付二十
錢位の高値を見る筈だが前記
の如く出荷の多いのは一般生
産家が中央の高値に手放し時
と見たことよりも地方として
は近年にない順調な田圃の終
了と向後の作柄に急激な天候
異變がない限り普通作を確保
と想像せる爲め一時的な氣
場の急騰の如きも一時的な氣
早人氣と見られる節多く従つ

視察夜話

産業界

資源部員

多田井生
人口は十六萬
余、鐘が淵紡績
會社の支店工場
が三つもあり其の他地元の有
力な織物會社が驛山あつて小
倉地や廣中綿布の生産は大し
たものなぞです、交通は水
陸共に便ありて花菱、織表を
多く産し近郊から出る農作物
も多いので、四里ばかり
離れた倉敷市は市税を特別戸
で大原孫三郎氏が在つて

時局講演

四日第二校に

理事長來平

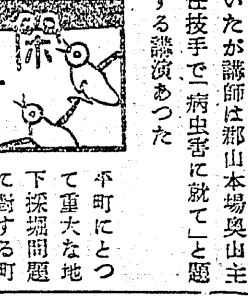
大日本經濟聯盟青森支部では
四日午後一時からマルトモ
ビルに於て支部旗の樹立式を
行つた午後三時から支部總會
兼ねて時局講演會を開き午後
七時から平町第三小學校講堂
に於て時局大講演會を開く事
になつたが當日は本部から特
に理事長瓜生喜三郎氏、元警
視總監廣庭勳選議員赤池澤
兩氏が來平一大獅子吼を試み
る筈である

農事講習會

神谷農試分場では今日午前

九時から農事特別講習會を開

神谷農試分場では今日午前
九時から農事特別講習會を開
九時から農事特別講習會を開
九時から農事特別講習會を開



いたが講師は郡山本場奥山主
任技手で「病虫害に就て」と題
する講演あつた

平町にとつ
て重大な地
下採掘問題
に對する町
當局を初め
町議各位の
お骨折を感謝いたします何卒
最後まで關つて下さい安全
な土地に不安を求める必要は
ありません礦山監督局として
も其れ位の事は解つてゐませ
う平町の氣にもなつて呉れて
来るので炭礦の爲めにばかり
来るものだと思ふことは間違
だとも考へます▲是れ迄の調査
だとは學說や技術やに地
方人の反對を喚ぶ様な説明
のあつたことあるかも知れ
ないが斯んどは其う云ふ態度
でなく確かに親切に教へて呉
れませんか例へば炭礦では選
二無二許可が欲しいから地層
がどうの地下が深いのと案人
を誤魔化すのに都合のよい事
を云ふかも知れないが今の學
説では保證は出来ない▲實は
九州の各炭礦地には悲惨な地
表障害が監督局に起つて困つ
てゐるが各監督局は炭礦のお手
に理事長瓜生喜三郎氏、元警
視總監廣庭勳選議員赤池澤
兩氏が來平一大獅子吼を試み
る筈である

畜産

年收千圓

有畜農經營者談

縮羊の飼育は近年石城地方にも漸く普及されて来たが本縣に於ける同飼養の嚆矢は伊達郡福田村羽田の篤農家三階堂市藏氏が大正十年同志七名と飼育の有利なるの目をつけて初めたのが抑の最初だと云はれてゐる、爾來十五ヶ年縮羊飼育の研究に努めた同氏は飼料の自給と自給肥堆肥の増殖を根本に合理的な畜養業を以て家畜ばかりで年收一千圓を計議してゐるが過般本縣の同事業視察に來朝した縮羊の本場である盛州の大縮羊牧場主も三階堂氏の深い研究と体験には一驚されたほどで同氏の一家は總數十二名、水田二町六反歩(半分は小作させる)、畑二町三反歩、山林二町歩を有しその經營收況は縮羊十四頭(親牝五頭、仔羊牝八頭、同牝一頭)馬は三才駒一頭、鶏六十四羽(親二十六羽、雛三十六羽)兎四頭(牝一頭、牝三頭)これだけの家畜で一千圓の收入を計議した根據は左記の如くである、

仔縮羊九頭の賣却代六百八十九圓(牝一頭八十四圓、牝一頭十七圓の見込み)親羊毛五頭分賣却代廿五圓(一頭分五圓の見込み)縮羊のみで七百十四圓(これに馬一頭の賣却代三百圓を加へれば縮羊と馬だけで一千圓を超える、なほ三頭の牝兎に一頭平均五圓を生ませて總計十五頭の賣却代及び鶏

六十四羽が生む鶏卵、廢棄代と今後飼養費定の豚一頭の見込めば價格に多少の變動があつても千圓を缺ける様なことはあるまいと(終り)

町 紺 屋 町
藤沼醫院
電 五 〇 七 番

ス ペ イ ン G・H・N 元 詰
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン
甘 味 葡 萄 酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

ガソリン
モビール油
日本株式會社
特約販賣
油問屋
關内油店
電話長 16
支店 支那山形市前通 電話長三二八
支店 支那長春市本路 電話長平海七三
油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

お醤油は ヤマフル
醤油味贈
たひら正宗
經節食料品
山崎合名會社
電話 一本 營業部 二七〇番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎
冷却力が永久に衰へず
いつまでも使へる冷蔵庫
冷蔵器は一と變や二た變で構造に狂ひが來て冷へ方が變る様では眞の文化的重寶と云はれませんが、其所で木材を最も嚴選しそれを完全なる設備の下に數年間十二分に乾燥して使用する、丸はん冷蔵器は絶対に狂ひを生ぜず永久によく冷へる經濟的冷蔵器として御愛用の皆様の間に古くから多大の御信用を博して居ります。
丸はん冷蔵器 平町三丁目 電話三五九
岩谷冷蔵器の代理店も致して居ります

内 科、小 兒 科
大森醫院
醫學士 大 森 勇
平町南町 電話二五八番
債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九一番

近代趣味
パラソル豊富陳列
ツルヤ
電一四〇

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平看護婦會
平町南町 電話三〇七
會長 清野キヨ
經濟的な御便宜ご用命をお願致升
御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正 男
平町町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需 鈴木醫院

石炭
コークス
豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

洋服は
高島屋
平町二丁目 電話三八六
注文並に既製品
夏物
入荷
澤山
高島屋洋服店

朝日
煙草
金屋商店

好評
たる各種優秀藥
カクレイ (三十三日分) (定價一圓) (強力驅毒劑)
スピロイン (定價一圓) (定價一圓) (五圓 十圓)
平町五丁目角
特約販賣店 山野邊藥局